

# 小野市議会だより

2025. 2  
No. 215

国道175号  
至 加東市

至 三木市

令和7年開通予定の東播磨道 小野ランプ  
撮影日：令和6年12月2日



# アンケート調査結果報告

議員定数検討特別委員会において、市民の意見を確認するため、議員定数に関するアンケートを実施しました。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。



## 対象者

小野市在住の18歳以上の方の中から無作為に2000人を抽出

## 実施期間

令和6年11月8日(金)～令和6年11月27日(水)

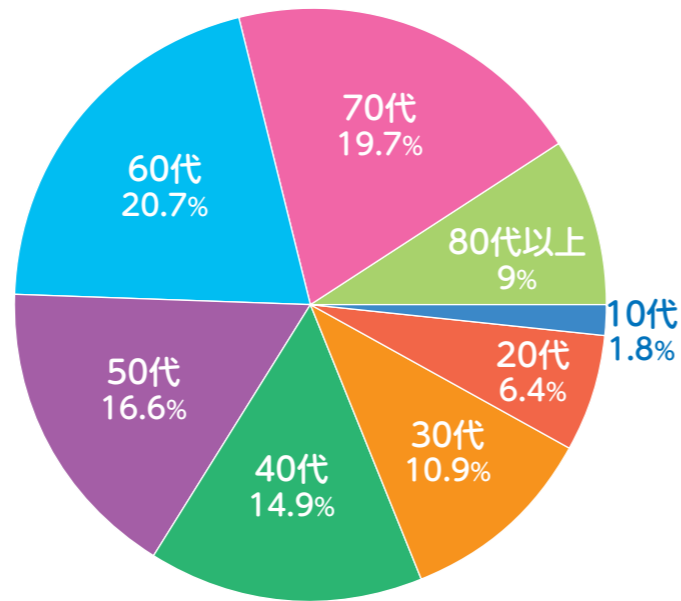
## 回答方法

郵送、FAX、WEB等で回答

## 回答状況

回答数 778人 (回答率38.9%)

## 質問1 年代



## 質問2 性別

性別ごとの年齢構成割合

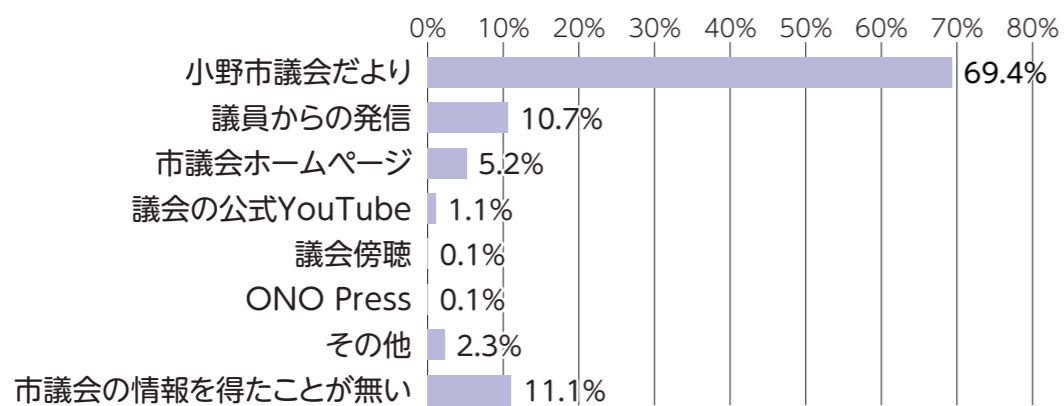
(単位:人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	割合
男性	11	28	39	49	48	76	77	34	362	46.5%
女性	3	22	46	66	81	85	76	35	414	53.2%
その他				1				1	2	0.3%
計	14	50	85	116	129	161	153	70	778	100%
割合	1.8%	6.4%	10.9%	14.9%	16.6%	20.7%	19.7%	9.0%	100%	



詳細はHPをご覧ください

## 質問3 議会の活動について、情報をどこから得ているか



議会だよりを読んでくださっている方が多い!

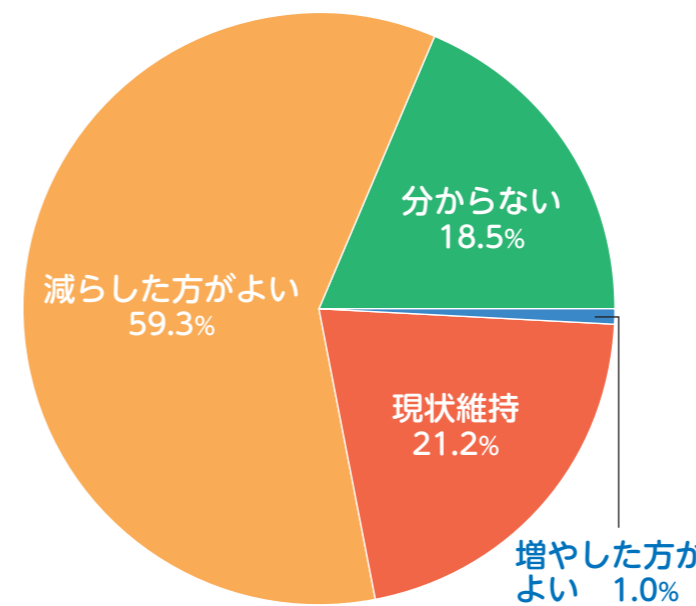


## 質問4 小野市議会の議員定数（現在16人）についてどう思われますか

年代別内訳

(単位:人)

	回答数 (人)	内 訳							
		増やした方がよい		現状維持		減らした方がよい		分からない	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10代	14		0%	6	42.9%	3	21.4%	5	35.7%
20代	50	2	4.0%	9	18.0%	25	50.0%	14	28.0%
30代	85	1	1.2%	15	17.6%	48	56.5%	21	24.7%
40代	116	1	0.9%	26	22.4%	61	52.6%	28	24.1%
50代	129	2	1.6%	21	16.3%	84	65.1%	22	17.1%
60代	161	1	0.6%	37	23.0%	99	61.4%	24	14.9%
70代	153		0%	36	23.5%	96	62.8%	21	13.7%
80代以上	70	1	1.4%	15	21.4%	45	64.3%	9	12.9%
計	778	8	1.0%	165	21.2%	461	59.3%	144	18.5%



### 「減らした方がよい」主な意見

- ・人口が減少していくので議員数も減らすべき
- ・近隣市（三木市など）と比較して多いから
- ・議員の活動内容がわからないから
- ・人件費削減のため
- ・議員数や議員報酬を見直すべき など

### 「現状維持にすべき」主な意見

- ・他市と比較して妥当な数だと思うから
- ・議員数ではなく議員報酬を見直すべき
- ・削減すると一人当たりの業務量が多くなり負担が増えるから など

### 「増やした方がよい」主な意見

- ・人数が多い方が多くの意見を反映できるから など

### 「分からない」主な意見

- ・議員の活動内容がわからない など

# 議員定数検討特別委員会で審査

付託議案：議員提出議案第1号

小野市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について

審査結果：反対討論があったものの採決の結果、賛成多数をもって可決すべきものと決定。

開催回数：7回

議案審査で出た主な議論

- ・16人で運営している議会内の役職や仕事を14人にする際、議員1人1人の意識改革に加え、組織のあり方、仕組みを変える必要があるのでは。
- ・2人減らすことで当局のチェック機能は弱まる可能性はあるが、定数減を望む意見が59.3%であることの現実を分析し、受け止める必要がある。定数減はやむを得ないのでは。

委員会  
可決



## 次の一般選挙から小野市議会の議員定数は14人とすることに決定しました

本会議4日目  
(12月25日)

### 賛成討論

- ・議員は市民の代表であり、本来であれば個々の議員で判断すべき議案だが、議会として特別委員会を設置し、アンケートを実施すると決めたのであれば、アンケート結果は当然尊重すべき。
- ・議員の数が多く、より多くの市民の意見を反映できるという考え方は理解できるものではあるが、いかにして自らの質を高め、民意を効果的に反映させるかを基本に、我々議員自らが重い決断をもって、身を切ることが議会改革のひとつの形。
- ・議員定数を削減することで、改めて覚悟を持って活動し、これまで以上に市民から信頼される議会にしていかなければならない。

### 反対討論

- ・議員定数の削減は、多様な市民の声を市政に反映させる力が弱まるということ、また行政に対する議会のチェック機能が弱まるというマイナス面がある。
- ・経費削減という面から見ても、2人減らせば年間1400万円ほど削減できるが、見直せばいいものは他にもある。
- ・議員の一般質問を通じて実現した事業も数多くあり、市政のあり方についても使用料、利用料の改定のように、市民の皆さんから反対や疑問の声が寄せられ、議員が取り上げて一定の修正がなされた事例もある。
- ・小野市と人口が同じぐらいの全国22市の平均は17.7人。人口減少の中とはいえ、拙速に定数を削減する必要はない。

## 市議会に対するご意見もたくさんいただきました

多くの市民の意見を聞いて審議してほしい

議員をあまり身近に感じない

医療や福祉に力を入れてほしい

議員と直接会う機会がない

市の将来像について議論してほしい

活動内容がわかりにくい

地域に密着した活動をしてほしい

市民目線で活動してほしい

## 議会だよりについてのご意見も!

今、市が抱えている問題を知らせるなど、もっと読ませる工夫をして欲しい

議会だよりを読んでいるがWEBだけになったら読まなくなりそう

年4回の発行は少ない

新聞折り込みをしてもいいかも

貴重なご意見ありがとうございました!  
小野市議会として、今後も市民目線に立ち見える活動をして参ります。



# 提出議案と審議結果



## ★全会一致で可決・同意した議案

区分	議案番号	議案名
補正予算	第55号	令和6年度小野市一般会計補正予算(第7号)
	第62号	令和6年度小野市一般会計補正予算(第8号)
	第63号	令和6年度小野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
	第64号	令和6年度小野市介護保険特別会計補正予算(第2号)
	第65号	令和6年度小野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
	第66号	令和6年度小野市水道事業会計補正予算(第2号)
	第67号	令和6年度小野市下水道事業会計補正予算(第2号)
条例	第56号	小野市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	第57号	小野市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	第68号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
契約	第71号	新幼稚園整備工事請負契約について
人事	第61号	小野市固定資産評価審査委員会委員の選任について 加西市山下町 横山 英一氏 小野市久保木町 藤原 康博氏
	第72号	小野市教育委員会委員の任命について 小野市下来住町 藤本 真理氏 小野市王子町 加納 昌樹氏
その他	第58号	小野市うるおい交流館の管理に係る指定管理者の指定について
	第59号	小野市一般廃棄物最終処分場の管理に係る指定管理者の指定について
	第60号	小野市都市公園の管理に係る指定管理者の指定について

## ★賛否が分かれた議案と審議結果

議案名等	議決結果	賛成	反対	創生おの		おの未来図		市民クラブ		公明党		無党派		無党派		無党派	
				安達哲郎	山本悟朗	平田真実	前田昌宏	掘井ひさ代	山本麻貴子	小林千津子	河島三奈	前田光教	川名善三	村本洋子	宮脇健一	藤原章	喜始真吾
第69号 特別職の職員で常勤のものの特給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	12	1	欠席	○	欠席	○	○	○	○	○	○	●	○	○	※	○
第70号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	10	3	欠席	○	欠席	○	○	○	○	○	○	●	●	○	※	●
議員提出議案 第1号 小野市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	可決	12	1	欠席	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	●	○	※	○

※ 高坂純子議員は、議長のため表決権はありません。

賛成 = ○ 反対 = ●

# 審議議案の中から PICK UP!!

一般会計補正予算第8号(議案第62号) — 物価高の影響を特に受ける低所得世帯への支援を実施!

「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」に基づき、住民税非課税世帯に給付金を支給します。子育て世帯には、給付金を加算して支給します。

《支給対象者》 世帯全員が令和6年度住民税非課税である世帯の世帯主

《給付金額》 1世帯あたり3万円、子育て世帯は子ども1人あたり2万円を加算

《対象世帯》 子育て世帯約380世帯を含む約4,500世帯

《事業費》 1億5,800万円(国庫)

《支給時期》 令和7年1月末以降

一般会計補正予算第7号(議案第55号) — 北播磨総合医療センター企業団負担金の増額

コロナ禍以降、病床がフルオープンできていない中、人事院勧告に伴う人件費の増等、安定した経営及び医療体制を維持するため負担金を増額します。

《補正額》 1億3,000万円

プラスチック製ドラム缶購入費用を増額

市内99自治会等のうち、既に45自治会等についてプラスチック製ドラム缶へ交換完了。当初の想定を上回る進捗となっており、今後交換を希望される自治会等に対して早期に対応するため、購入費用を増額します。

《補正額》 100万円



(議案第68号) 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

人事院勧告に基づく、一般職の職員の給与に関する法律等の改正に伴い、若年層を重点的に給与を平均3%引き上げ、期末手当及び勤続手当をそれぞれ0.05月分引き上げようとするもの。また、地域手当を国の基準に合わせ、4%支給しようとするもの。(令和7年度・2%)

(議案第69号) 特別職の職員で常勤のものの特給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(議案第70号) 特別職の職員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

特別職の職員で常勤のものの特給及び議会の議員の期末手当について、人事院勧告に伴う一般職の職員の給与改定に準じて0.1月分引き上げようとするもの。

# 第451回 定例会

12月 会議期間24日間  
(12月2日~12月25日)

市長提出議案: 18件  
(補正予算7件・条例改正5件・人事2件・契約1件・その他3件)  
議員提出議案: 1件(条例1件)



# ここが聞きたい 一般質問!!

市民のみなさまの生活に関わることについて、9人の議員が一般質問を行いました。

(一般質問は発言した議員が編集しました)



## ●一般質問とは……

市政全般にわたり、執行機関（市長）に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。

## ●質問テーマは？

1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由に決めています。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い、市の見解を求めます。

## ●質問の制限時間は？

1人あたりの制限時間は40分です。(答弁は含みません)



## 《一般質問をスマホ・タブレットで視聴できます!》

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。



村本洋子議員（公明党）



QRコード



## 身元保証や終活を支える体制を

答弁 国のモデル事業の検証結果を注視し研究・検証

質問 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築は？

答弁 平成27年度から在宅医療介護連携推進協議会を設置し、年2回会議を開催し、双方の役割の理解と顔が見える関係づくりや市民への情報発信を行う体制を整備している。社協に設置している地域包括支援センターでは、毎月地域ケア会議を開催し、医療職と福祉職等が多角的に支援方法を検討している。緊急に支援が必要な場合には随時、ケース会議を開催し、迅速な支援につなげている。

情報共有ができる仕組みを取り入れ、円滑なサービスの提供につながつている。(市当局)

認知症の方に寄り添った地域社会の構築について

質問 新しい認知症観の普及や新しい認知症観に基づいたサポーター養成講座、研修等について。

また、入・退院時の連携体制は、各病院の地域医療連携室とケアマネジャーの間で「入院時・退院時情報連携書」を活用。昨年度より、ケアマネジャーと訪問看護等で「LINE WORKS」を利用した迅速に

答弁 新しい認知症観を普及していくことは重要であり、今年度よりサポーター養成講座に取り入れ、認知症の方の「尊厳ある暮らし」の実現を目指している。市内の全小学4年生を対象に「認知症キッズサポーター養成講座」や、毎年、地区を巡回し、高齢者見守り模擬訓練を行い、地域で認知症の方を見守る意識の醸成を図っている。(市当局)

前田昌宏議員（おの未来図）



QRコード



## 高齢者の緊急通報事業について

答弁 浴室で24時間動けずにいた方を救急搬送

質問 見守り活動の担い手も高齢化が進んでいる。ICTの活用による見守り活動は。

行っている。また、民生委員の方が高齢者のみ世帯を戸別訪問し、地域での見守り活動を行っている。(市当局)

答弁 市が実施する緊急通報事業は、体調急変時にボタンを押すことでオペレーターに繋がりが、救急車の要請と家族等に連絡をするものである。希望により寝室等にセンサーを設置すると24時間感知しない場合に家族に連絡が行く。現在119名の利用がある。(市当局)

質問 社会的孤立で問題となる場面として、身体面での不安がありながら介護保険等を利用されない方へのサポートは。

答弁 後期高齢者フレイル予防事業として、保健師等が病院に全くかかっていない方や継続すべき治療や薬を中断していると思われる方の家庭訪問を実施し保健指導を行っている。(市当局)

質問 80歳以上の方への病気の申請要件を外せないか。

答弁 高血圧も病気に含めるなど幅広い要件としており、必要な方は制度の対象となっているため、要件の見直しは考えていない。(市当局)

## 高齢者の社会的孤立を防止する対策は

答弁 高齢者の活動機会の提供として、様々なサークル活動等の支援を

インターンシップ(就労体験)の実施による若手人材の確保は

答弁 今年度、北播磨の企業132社で小野工業高校の生徒147人の受入れがあった。参加した企業がノウハウを蓄積し、将来的には大学生への展開を期待している。(市当局)

平田真実議員（創生おの）



QRコード



## 教育施設統合の可能性や方向性は

答弁 市民からも様々な意見を出してもらいたい

質問 河合中学校をどのように改修するか検討するため、河合中学校大規模改修検討委員会が設置されたが、現在の取組状況は。

学校施設とコミセンの複合化など、施設の集約化等に向けた計画をしっかりとしていくべきと考える。市長は議会で「小野市は基本的に学校の統合はしない」と発言する一方で「これを市民に分かってもらう周知の場は設けていないが、市長は何を考えるとねんという市民からの声もない」

答弁 検討委員会は、河合地区の代表自治会長を委員長とし、自治会代表、河合小・中学校PTA代表、学校評議員、河合小・中学校管理職で構成され、それぞれの立場からの意見を聞いている。ハザードマップを考慮した立地場所の選定、小中学校の校舎を1つにまとめる義務教育学校や小中学校の校舎を隣接させることとの是非など、多様な観点で議論を行っている。地域の方々の活動の拠点施設となるよう十分に協議を重ねていく。(市当局)

「気がついてみたら、小野市だけ学校統合をしていなかったというリスクもあることは事実」とも発言しておられる。将来を見据えて市民へ情報提供し、周知したうえでないと市民からの意見は出てこないのではないか。

質問 河合や下東条のコミセンは改修や整備に係る費用の課題もある。

答弁 内部での素案はある。教育委員会を含め、しっかり意見を聞いてほしい。市民からも意見が出てくることを願う。(市長)



掘井ひさ代 議員 (おの未来図)



QRコード



## 食品アクセス問題について

**答弁** 公設コンビニ・移動販売・らんらんバス等で対応

**質問** 公設コンビニ「ふれあいマー」の現状と課題は。

を検討する必要があると考える。

(市当局)

**答弁** 開設以降、売上高はほぼ横ばいで、仕入れの効率化・在庫の見直しを進めているが、市からのサポート等の支援が必要な状況。一方で、住民が集う場所として地域に根付いてきており、課題として、収益性を上げること、スタッフの後継者育成が挙げられる。

(市当局)

**質問** 来住地区には店舗がなく、河合地区はコンビニ1店舗となっており「食品アクセス困難人口」の割合は高く対策が必要である。来住・河合地区への公設コンビニ事業の展開は。

**答弁** ふれあいマーの運営の課題を、市・運営者・地域が認識を共有し解決に取り組み、安定運営に目途がついた時点で、そのノウハウをもって、来住・河合地区への事業展開

前田光教 議員 (市民クラブ)



QRコード



## 小野なのか、おののののかなのか

**答弁** 「おののののか」さんがイメージモデルを務める!

**質問** 「だからおのののか」キャンペーンの内容を問う。

**答弁** 小野市の観光PRとふるさと納税PRを連動させ、インターネットPR用特設ページの作成、観光とふるさと納税のプロモーションを行い、TV情報番組や、新聞掲載、SNSでの拡散により、小野市の魅力再発見に繋がればと期待している。

(市当局)

## 循環型社会の形成に向けた取り組みについて

**質問** 官民連携による取組の経緯、取組内容、方向性を問う。

**答弁** 株式会社エフピコがひょうご小野産業団地への進出を契機に、市と歩調を合わせリサイクルや脱炭素に関する取組に協力したいとの申し出をいただいた。市としても資源環境によるゴミ減量化への思いを協議

(市当局)

## 小野公式LINEの取組について

**質問** 公式LINEの反響や今後の展開を問う。

**答弁** 持ち運べる市役所を目指しシステム構築に取り組み、これら機能は職員の手作りである。12月1日現在、約14,600人にご利用いただき、現在も様々な予約システムの開発を進めている。今後、さらに利便性を高めていきたいと考えている。

河島三奈 議員 (市民クラブ)



QRコード



## らんらんバスのハブ機能は?

**答弁** ハブ機能は、エクラバス停留所へ移転

**質問** イオン小野店の一時休業に伴う、らんらんバスの停留所や、ルートにはどのような変更があるのか。

**答弁** 市内を運行するらんらんバスの乗降者数は、令和6年度で20万人を超える見込みで、最も多いのがイオンバス停で5万5千人である。イオンバス停は市内運行ルートのハブ機能を有しており、イオン一時休業に伴い、こちらのハブ機能は、エ

(市当局)



らんらんバスとイオン小野店

クラ停留所に移転する。主な理由は、①現在二つの停留所は近接する位置にあり、現行のバスの便数を維持できること、②運行時刻の変更も軽微で済むこと、③運行距離延長などに伴う経費の増加がないこと、④エクラ周辺には「うるおい交流館エクラ」「図書館」「食料品店」などの施設利用もでき、イオンの一時休業

河島信行 議員 (無党派)



QRコード



## 小野市と兵庫県との良好な関係構築について

**答弁** 姿勢は「政治家としての矜持」を持って対応

**答弁** この度の兵庫県知事選挙後における兵庫県と小野市の関係については、法の下に県と市の関係は相互に同等の場である中で、「県と市が連携するのは当然のことであり、一方で言うべきことは言う」というのが小野市の基本姿勢である。いわばそれが特別職である「政治家としての矜持」であり、絶えず国や県、また全国の首長とも常に連携をとっており、何らこれまでと対応が変わるものではない。

(市長)

## らんらんバスの無料化について

**答弁** 高齢社会の進展により、利用者は年々増加が想定され、無料で乗車できる方の割合が増えることから無料対象者を拡大しない。(市当局)

## イオン小野店の一時休業について

**答弁** イオンの営業サイドとしては「閉店」ではなく、「営業再開」が前提。建設市況により、確定的な時期等が明言できない。イオン小野店の未来志向のリニューアル、営業再開により周辺地域を巻き込んだ新しいまちづくりが進むものと期待している。(市当局)

## 図書館東側のにぎわいについて

**答弁** 店舗の誘致は、民間主導により進める。(市当局)



**質問** インフルエンザ予防接種の無料化について

**答弁** 県下約9割の市町は小野市と同額額の自己負担を設けている。個人の感染予防に対する意識によって接種率が変わるのではないかと推測される。(市当局)

(市当局)



# 常任委員会審査報告

12月定例会の提出議案審査について、予算決算、総務文教、民生地域の各常任委員会を開催し、当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。

## 《予算決算常任委員会》

12月19日開催

付託議案数：7件（議案第55号、議案第62～67号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

### ●主な審査内容

議案第62号 令和6年度小野市一般会計補正予算（第8号）について

低所得世帯物価高騰緊急支援給付金支給経費について、対象世帯数や対象人数、具体的な振込スケジュールを確認しました。小野市公式LINEを活用し、最短で1月末が最初の振込予定であることを確認しました。

## 《総務文教常任委員会》

12月19日開催

付託議案数：7件（議案第56号、第58号～59号、第68～71号）

審査結果：【議案第56号、第58号～第59号、第68号、第71号】

反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

【議案第69号、第70号】

反対討論があったものの採決の結果、賛成多数をもって可決すべきものと決定。

### ●主な審査内容

議案第58号 小野市うるおい交流館の管理に係る指定管理者の指定について

小野市うるおい交流館エクラの指定管理者について、引き続きNPO法人北播磨市民活動支援センターを指定しようとする議案について、非公募による選定方法で問題が無いのか確認しました。

同法人はエクラの設置目的である市民の協働参画、地域活性化の推進といった目的に即した活動をしており、過去の実績や候補者選定の特例規定に基づき非公募による選定で問題ないことを確認しました。

※令和6年10月1日付で、委員長が山本悟朗議員から河島信行議員に交代しています。

## 《民生地域常任委員会》

12月19日開催

付託議案数：2件（議案第57号、議案第60号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

### ●主な審査内容

議案第57号 小野市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について

過去に固定資産税の減免を受けた企業が何社あるのか、また減免の対象となる本社機能を有する建物の条件等について確認しました。

※令和6年11月6日付で、副委員長が安達哲郎議員から村本洋子議員に交代しています。

藤原 章議員（日本共産党）



QRコード



## 高齢者の補聴器購入に補助を

どの段階で、どんな対応が望ましいか考える

**質問** 加齢で難聴になると社会参加が難しくなり、フレイルや認知症の発症・進行にもつながる。補聴器購入の補助制度が必要だ。

**答弁** 県の実証実験では成果が少なかった。県内15市町が実施しているが補助率は少ない。市独自の助成は今のところ考えていない。（市当局）

**答弁** 市民の要望があり、実態として必要があれば、どの段階でどんな対応が望ましいか、もう少し考える必要がある。（市長）

### 高齢者の食事確保を

**質問** 一人暮らしの高齢者の食事が心配だ。何か対応はあるのか。

**答弁** 小野市よりそい協議会で「よりそい」という冊子を作成し、食事や食料品を配達できる16業者を紹介している。コミセン2か所で男の料理教室を実施している。（市当局）

マイナ保険証と健康保険証廃止について

**質問** マイナ保険証の加入状況と利用状況を問う。

**答弁** 本市のマイナンバーカード取得率は92.2%、マイナ保険証紐付けは約71%。マイナ保険証の利用は16.7%。（市当局）

**質問** 医療機関はマイナ保険証に対応できているのか。

**答弁** 市内の約95%の医療機関等でマイナ保険証により受診できる。現在、トラブルの情報はない。（市当局）

**質問** 「資格確認書」は、今後も毎年発行されるのか。

**答弁** マイナ保険証でない方に資格確認書が発行される。国民健康保険及び後期高齢者保険に係る有効期限は県内統一で1年間である。（市当局）

宮脇健一議員（日本維新の会）



QRコード



## 観光戦略の方向性について

遊び方を提案し周遊を促していく

**質問** 「だからおのなか」キャンペーンの目指す効果や目標は。

**答弁** 観光客数の増加とふるさと納税寄付額の増加を期待しており、具体的な戦略としては、これまでになかった新たな切り口で、観光施設や地場産品の魅力がより引き出されるデザインやキャッチコピーを用いたプロモーションをすること、観光とふるさと納税のPRを相互に連携させ、インターネット上でのプロモーションを中心に展開している。具体的には、インスタグラムのフォローワー数を4,000人に、また、ふるさと納税寄付額4億円に達することを今年度の目標として取り組んでいる。（市当局）



（市当局）

**質問** 浄土寺を観光資源としてどのように活用していくのか。

**答弁** 浄土寺の魅力を引き出す事業として、「ボランティアガイドひまわり」のガイド事業がある。市内外から訪れる観光客に対し、無料で観光案内を実施し、国宝浄土寺の魅力伝えていく。また、最近の取り組みでは、近隣4市の観光協会が協働し、「播磨の国宝巡り」ツアーを実施している。

観光ゾーンとしての事業は、本年度から小野市観光協会においてデジタルマップの運用を開始している。これは、インターネット上の地図データに、観光施設や飲食店舗等の情報を関連付け、どこにどんな内容の施設があるかが一目で分かるものになっていく。（市当局）



# 総務文教常任委員会視察報告

令和6年11月12日(火)

## ★もりやまエコパーク環境センター、交流拠点施設について（滋賀県守山市）

### ✓施設の特徴

- ・70トン級の小規模施設でありながら、高温高圧の蒸気条件で高い発電効率を達成。
- ・発電出力：1400KW
- ・タービン排熱を利用し、交流拠点施設の温水プールへの熱供給
- ・焼却の際に発生する熱エネルギーを利用する、サーマルリサイクルに取り組む。
- ・煙突が目立たなく、景観に配慮した外観デザイン
- ・埋設廃棄物対策としてランプウェイを採用
- ・バーチャル炉内体験やパッカー車のトリックアート等を設置し、充実した施設見学の実施。



### ✓市民が共に学び、考え、行動する「環境学習都市」の実現

新環境センターの建設を契機として、平成29年10月23日に「環境学習都市宣言」を制定。この宣言は、「市民一人ひとりが守山の環境について、さらに理解を深めるとともに、学び、考え、行動すること」とする自治連合会からの決意表明を受け、市民の手によって定められた。

### ✓もりやまエコパーク交流拠点施設

「環境」、「健康」、「交流」をはぐくむ活動拠点

守山市環境学習都市宣言記念公園交流拠点施設は、地域の新たな魅力づくりに大きく貢献する施設にするとともに、多くの市民が集い、憩うことで、市民に愛される施設として、「環境」、「健康」、「交流」をはぐくむ活動拠点となるよう整備された。

報告の詳細は  
ホームページで!



令和6年11月25日(月)

## ★旭丘中学校（長寿命化改修工事）内覧について

### ✓視察の目的

長寿命化改修工事が完了した旭丘中学校を全議員で内覧し、市当局および建設業者から主な工事内容等について説明を受けるため。

### ✓改修工事のポイント

- ①長寿命化改修工事
- ②校内バリアフリー化
- ③トイレバリアフリー化
- ④保健室の位置の変更
- ⑤職員室のレイアウト変更
- ⑥防犯レベルの向上
- ⑦中庭の有効活用



※12月下旬に新校舎へ引越し、3学期から供用開始

# 議会活動報告

## 令和6年度 議会調査研究活動

各議員の報告書は、市議会ホームページの「議会調査研究活動報告」をチェック!



令和6年12月27日 開催

派遣日	派遣先	内容
10月9日～10日	トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）	全国市議会議長会研究フォーラム
10月17日～18日	アクリエ姫路（兵庫県姫路市）	全国都市問題会議

## 令和6年度 議員協議会

令和6年12月27日 開催

項目名	説明者
三木スマートインターチェンジについて	道路河川課
北播磨総合医療センター企業団の運営について	北播磨総合医療センター企業団

## 市民との懇談会を開催

令和6年11月27日 開催

令和5年度、市内の団体様より議会との懇談を行いたいのご希望をいただいていたことをきっかけに制度化し、制度開始後初めての開催となりました。

市内法人保育所等理事長会様からお申込み頂き、議会運営委員会にはかり、福祉、子育てが所管業務である、民生地域常任委員会が担当しました。

懇談会では、理事長会会長をはじめ、園長先生方からも保育現場の状況をご説明いただき、現在の保育所・認定こども園の課題や、目指していくことなどを情報共有しました。議員からも質問させていただき、貴重な意見をお伺いし、大変有意義な時間となりました。

### 出された主な意見

- 市の補助金等もあり無事認定こども園化して園児も増えている。
- 今のところ法律で規定された保育士の人数は、どの園も確保されているが、保育の質の向上や保護者のニーズを保てるほどの充足率ではない。また、産休・育休対応での補充の職員が確保されていない。
- 正規とパートの職員の割合が理想的ではなく、正規職員の負担が増えている。
- コロナ禍で外遊び等の経験不足の影響が見られる。
- 配慮の必要な子どもが増えているため、職員確保にどの園も苦慮している。
- 保育のしごと就職フェアに市も協賛してほしい。





# 議会を傍聴しませんか？



## 令和7年3月定例会(予定)

※変更となる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
2/23	24	25	26 本会議1日目 (10:00～) 議案説明	27	28	3/1
2	3	4 託児申し込み (12・13日分) 手話通訳・要約筆記 申し込み (12・13日分)	5	6	7	8
9	10	11	12 本会議2日目(10:00～) 一般質問 ※懇話会あり	13 本会議3日目(10:00～) 一般質問 ※懇話会あり	14	15
16	17 予算決算常任委員会 (10:00～)	18 予算決算常任委員会 (10:00～) 手話通訳・要約筆記申し込み (26日分)	19	20	21 民生地域常任委員会 (10:00～) 総務文教常任委員会 (13:30～)	22
23	24	25	26 本会議4日目 (13:30～) 議案の採決など	27	28	29

※議会と市民との懇話会 … 一般質問を行う日の本会議休憩中に、傍聴者の方からご意見をいただく機会を設けています。

※託児コーナー開設 … 一般質問を行う3月12日(水)、13日(木)は、「託児コーナー」を開設します。

傍聴の際には、1歳から就学前のお子様をお預かりします。3月4日(火)までに議会事務局までお申し込みください。(費用負担はありません)

※手話通訳・要約筆記 … 本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。

希望日の8日前までに議会事務局までお申し込みください。(費用負担はありません)

### 傍聴方法

**本会議の受付所** 市役所6階  
傍聴者名簿に住所・氏名を記入  
※入退場自由/定員38人  
※耳が聞こえにくい方も傍聴できる  
よう磁気ループを設置しています。  
**各委員会の受付所** 市役所6階  
傍聴者名簿に住所・氏名を記入

### ネット中継視聴方法

本会議の様子をパソコンやスマホなどでいつでも視聴できます。(ライブ中継・録画視聴) 過去2年分の録画中継が視聴できます。

小野市議会

検索



### ネットで気軽に閲覧



アプリをダウンロードするとスマホに広報紙が届きます！



《お申し込み先》 議会事務局 TEL. 63-1006 (直通) FAX. 63-4108  
E-mail: gikai@city.ono.hyogo.jp (市議会だよりへのご意見もこちらまで)

委員 村本洋子  
委員 宮脇健一  
委員 山本麻貴子  
委員 掘井ひさ代  
委員 安達哲郎  
副委員長 平田真実  
委員長 高坂純子

〔市議会報編集委員会〕  
掘井ひさ代  
(市議会報編集委員)

今回の「議会だより」から裏表紙を一新しました。引き続き小野市議会の活動にご理解とご協力をよろしくお願いたします。表紙は東播磨南北道路の写真です。令和7年に全線開通予定。更なる飛躍へのスタートとなる道路です。

■ **あとがき**  
小野市議会だよりをご覧くださり、ありがとうございます。議員定数に関するアンケートにご協力いただき、ありがとうございます。次の一般選挙より議員定数を16人から14人とすることに決定しました。皆様から頂いたご意見を真摯に受けとめ、今後の議員活動や議会活動に活かしていきたいと思っています。